

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 7 年 6 月 13 日(2025.6.13)

【公開番号】特開 2024-169770(P2024-169770A)
【公開日】令和 6 年 12 月 6 日(2024.12.6)
【年通号数】公開公報(特許)2024-229
【出願番号】特願 2023-86079(P2023-86079)
【国際特許分類】
A 6 3 F 7/02(2006.01)
【F I】
A 6 3 F 7/02 3 2 0

10

【手続補正書】
【提出日】令和 7 年 6 月 5 日(2025.6.5)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項 1】

所定の開始条件の成立に基づいて所定図柄の変動を実行可能な遊技機であって、
所定の表示を行うことが可能な表示手段と、
を備え、
所定の条件が成立することに基づいて、前記表示手段に当該遊技機の一部を模倣した特
殊模倣画像を表示可能であり、
さらに、前記特殊模倣画像の表示中には、当該特殊模倣画像の一部に重複するように特
定画像が表示され得るものであり、
前記特殊模倣画像は、当該遊技機の一部を模倣している画像であるものの、当該遊技機
の一部との間で異なる箇所として特定相違箇所が設けられている画像であり、
前記特定画像が表示されることによって前記特殊模倣画像の一部が重複される場合でも
、前記特殊模倣画像における前記特定相違箇所には前記特定画像が重複しないように表示
可能であり、
さらに、前記特定画像は、前記特殊模倣画像の表示期間中に非表示にされ得るものであ
り、
さらに、前記特殊模倣画像は、当該特殊模倣画像の表示が継続しているなかで、表示開
始された際の表示態様とは異なる表示態様へと変化して表示され得るものであり、
前記特定画像は、前記特殊模倣画像が表示開始された際の表示態様で表示されている場
合、及び前記異なる表示態様で表示されている場合のいずれにおいても、前記特殊模倣画
像における前記特定相違箇所に重複しないように表示可能である

30

40

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 7
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 0 7】

上記した目的を達成するために、請求項 1 に係る発明においては、
所定の開始条件の成立に基づいて所定図柄の変動を実行可能な遊技機であって、

50

所定の表示を行うことが可能な表示手段と、
を備え、

所定の条件が成立することに基づいて、前記表示手段に当該遊技機の一部を模倣した特
殊模倣画像を表示可能であり、

さらに、前記特殊模倣画像の表示中には、当該特殊模倣画像の一部に重複するように特
定画像が表示され得るものであり、

前記特殊模倣画像は、当該遊技機の一部を模倣している画像であるものの、当該遊技機
の一部との間で異なる箇所として特定相違箇所が設けられている画像であり、

前記特定画像が表示されることによって前記特殊模倣画像の一部が重複される場合でも
、前記特殊模倣画像における前記特定相違箇所には前記特定画像が重複しないように表示
可能であり、

10

さらに、前記特定画像は、前記特殊模倣画像の表示期間中に非表示にされ得るものであ
り、

さらに、前記特殊模倣画像は、当該特殊模倣画像の表示が継続しているなかで、表示開
始された際の表示態様とは異なる表示態様へと変化して表示され得るものであり、

前記特定画像は、前記特殊模倣画像が表示開始された際の表示態様で表示されている場
合、及び前記異なる表示態様で表示されている場合のいずれにおいても、前記特殊模倣画
像における前記特定相違箇所に重複しないように表示可能である

ことを特徴とする。

【手続補正 3】

20

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

30

40

50